

令和7年度事業計画

令和6年中の県内における交通情勢は、発生件数は9,059件で前年比マイナス979件、死者数は49人で前年比プラス2人、負傷者数は11,195人で前年比マイナス1,182人であった。

また、高齢化社会が加速する中において、全死者のうち高齢者の死者は36人と全死者の73.5パーセントを占めたほか、高齢者が加害者となる事故も後を絶たない状況にある。

令和7年度、本会としては、これら厳しい情勢を踏まえ、事業目的でもある「民間の交通安全活動推進の中核的な組織として、群馬県内の道路における危険を防止し、交通の安全と円滑を図るための事業を推進するなど、県民が交通事故のない安全で安心して暮らせる交通社会の実現に寄与する。」という方針に基づき、各種交通安全対策を積極的に推進する。

更に、群馬県交通安全計画に示された目標達成とともに、平成26年12月22日施行の群馬県交通安全条例などを具現化するためにも、引き続き群馬県・群馬県警察及び関係機関・団体等との連携を密にし、地域に根ざした公共性の高い各種対策を推進する。

第1 交通安全活動の推進、普及・啓発事業（公益目的事業1）

1 交通安全活動の推進事業

一瞬にして尊い人の命を奪い、平和な暮らしを破壊してしまう交通事故を無くすことは、県民すべての切実な願いである。

本会は人命尊重という理念の下、県民一人一人が交通ルールを理解するとともに、これを遵守し、交通マナーを実践できる社会を実現するため、世代を問わず全ての県民を対象とした交通事故防止活動を行う。

(1) 幼児、児童・生徒

ア 幼稚園児・保育園児を対象とした交通安全教室

（公財）群馬県防犯協会との共催による「G-FIVEと学ぼう めざせ安全！園児たち」では、県内各地の幼稚園・保育園を訪問して、人気キャラクター「超速戦士G-FIVE」をはじめ、着ぐるみ、腹話術等の活

動及びパトカー・白バイの展示等により、子ども達の興味を引きつける方法による防犯・交通安全教室を開催し、就学前園児の交通安全意識の高揚を図る。

また、その安全教育の様様をテレビ放映することにより、視聴者への周知を図り、交通安全意識の醸成と啓発を行う。

イ 新入学児童に対する交通安全教育

平成26年度から、県内すべての新入学児童を対象に学童用交通安全傘（黄色）を配布しているが、本年度もこの施策を継続し、本会女性部員等が入学式等の機会を利用して配布する。

また、併せて交通安全教育を実施し、通学路における安全な歩行方法や交通マナーの実践を指導する。

ウ 夏休み交通安全教室、交通安全クリスマス会

群馬県総合交通センターにおいて、警察が行う夏休み及びクリスマス等、各季の交通安全イベントを支援し、幼児、児童及びその保護者を対象とした交通安全教育を行う。

エ 小・中学校における自転車交通安全教室

各警察署及び群馬県自転車協同組合等と連携し、対象に応じた交通講話や実技指導を含めた「自転車交通安全教室」を開催し、交通ルールや自転車の安全な乗り方などの指導を行い、児童、生徒の自転車事故防止に努める。

オ バイク通学高校生に対する実技講習会

群馬県、群馬県自転車協同組合及び各警察署と連携し、バイク通学を許可されている高校生を対象とした交通安全講話や実技講習会を開催し、安全運転技能の指導を行い、高校生の交通事故防止を図る。

また、群馬県交通安全条例に基づく交通安全教育アクション・プログラムも作成されていることから、群馬県教育委員会主催の「高校生・指導教員向けの二輪車安全運転者講習会」を警察と連携して開催し、高校生が関係する交通事故を防止するため、一人一人に交通ルールの理解と交通社会の一員であることを強く自覚させる。

その他、二輪車講習会を、地区交通安全協会ごとに実施する。

(2) 高齢者

ア 高齢者宅家庭訪問指導

運転免許を持たない高齢者や老人クラブの各種活動及び地域の行事等への参加に消極的な高齢者は、安全教育を受ける機会に恵まれていないことから、横断歩行中や自転車乗車中に交通事故の被害に遭うことも多い。

このような情勢を踏まえ、女性部員が中心となって、地域の高齢者宅をはじめ、地域住民への家庭訪問を行い、高齢者に対する交通事故防止活動を地域ぐるみで推進するよう呼び掛け、反射材やチラシを配布の上、交通事故防止ワンポイントアドバイスをを行うなど、きめ細かな安全指導を行う。

イ 足元に生命（いのち）の発信運動

夜間における歩行中の事故は、反射材を身に付けていないことが多いことから、街頭指導や交通イベントなどの際、その場で本人が履いている靴などに反射材を貼付する「足元に生命（いのち）の発信運動」を積極的に展開し、高齢者の交通事故防止を図る。

ウ 出前式交通安全教育

高齢者が参加する地域座談会や高齢者学級等に交通安全教育車「ふれあい号」を派遣し、運転適性検査をはじめ、動体視力及び夜間視力などの体験や検査を行う。

また、検査結果に基づき、加齢に伴う反射神経の衰え等、運転適性に関する事項について、個別に指導する。

エ 高齢運転者ミーティングにおける交通安全教育

群馬県警察と連携し、各自動車販売会社の協力を得て、各警察署管内の自動車教習所や公民館等において、地域の高齢運転者に対して安全運転サポート車の乗車体験や交通安全教育を行う高齢運転者ミーティングを開催し、運転適性検査や交通安全啓発品を配布するなどして、高齢運転者の交通安全意識の高揚を図る。

オ 安全・安心まちづくりふれあいコンサート

県警察音楽隊OBで編成する「ひまわり楽団」と連携し、老人会、高齢者施設、地域の公民館等で行われるふれあいサロンに訪問し、参加する高齢者等にスポット交通安全講話等を取り入れた「安全・安心まちづくりコ

ンサート」を開催し、交通事故防止を図る。

(3) 自転車運転者

ア 交通安全こども自転車群馬県大会

県、安中市、警察、県教育委員会及び県自転車協同組合との共催により、「交通安全こども自転車群馬県大会」を開催し、学科及び実技競技を通じて、小学生に自転車の安全な乗り方を体得させるとともに、交通安全に関する知識を高め、自転車による交通事故防止を図る。

成績優秀チームには、群馬県知事賞、安中市長賞、群馬県教育委員会教育長賞、群馬県警察本部長賞及び群馬県交通安全協会理事長賞等を贈呈する。

イ 自転車安全教育指導者への教養

交通安全こども自転車群馬県大会の開催に当たっては、各地域の理解及び出場チームの指導者を育成することが不可欠である。

また、各地で日常的に行われている自転車交通安全教室の内容充実を図るためにも、自転車安全教育指導者講習会を開催し、指導技能のレベルアップを図る。

(4) 二輪運転者

ア 二輪車安全運転講習会

群馬県総合交通センターにおいて、県警交通機動隊や二輪車安全運転指導員、群馬県二輪車普及安全協会の協力を得て、ビギナーライダーや運転に不安があるライダーや一般ライダーの安全運転技術の向上等を目的とした二輪車安全運転講習会を年2回開催する。

イ 群馬県二輪車安全運転競技会（二輪車安全運転フェア）

群馬県自動車教習所において、二輪車運転者の技能向上と交通安全意識の啓発により、二輪車の交通事故防止を図ることを目的として、「二輪車安全運転競技会」を開催する。併せて、楽しみながら交通安全を呼びかけるためのイベントを開催する。

ウ 二輪車安全運転指導者の育成

二輪車安全運転群馬県大会や二輪車安全運転講習会、事業所や高校等における安全運転講習会等における指導能力を向上するため、指導員等を対

象とした講習会を実施するとともに、更なるスキルアップのため、全日本交通安全協会が開催する二輪車安全運転特別指導員中央研修会に指導員を派遣する。

(5) 四輪運転者

ア ドライバーセミナー（一般コース・シニアコース）

群馬県総合交通センター運転免許試験コースにおいて、一般・高齢ドライバーを対象に「走る・曲がる・止まる」「見る・判断する・操作する」等の運転体験をすることにより、その重要性を再確認させるとともに、安全意識の醸成を図ることを目的に一般社団法人日本自動車連盟（J A F）群馬支部と本会が実施主体として開催する。

イ 夕暮れ時の早めのライト点灯・反射材活用促進

～上州ぴかっと運動～

夕暮れ時や夜間における交通事故が多発していることから、運転者には、夕暮れ時の早めのライト点灯（日没30分前のライト点灯）や夜間におけるライト上向き（対向車等に配慮）の実践を推進する。

また、歩行者・自転車利用者には、反射材の活用と明るい色の服装を促し、夕暮れ時や夜間における交通事故の防止を図る。

ウ 一斉街頭指導

地区交通安全協会では、各季の交通安全運動期間中や交通事故多発に伴う特別対策実施期間中等において、警察をはじめ、交通関係機関・団体と連携の上、幹線道路や主要交差点付近における一斉街頭指導を実施し、交通安全チラシ、女性部員手作りの交通安全マスコット等の啓発物品を配布しながら、交通事故防止を呼び掛ける。

エ 高齢者・初心者しあわせドライブ

県、警察等と連携の上、自動車を運転する機会が多い高齢者又は初心運転者を含む3人1組のチームにより、チャレンジ期間中の無事故・無違反を目指す「高齢者・初心者しあわせドライブ」を実施する。

この運動の目標達成チームには抽選で景品が贈呈される。

オ 介護送迎車ドライバー対象安全運転講習会

デイサービスを行う高齢者福祉施設では、日常的に施設利用者の送迎業

務を行っているが、送迎車両の運転は、施設事務職員や介護職員が行うケースが多く安全教育の機会が少ないため、県内ではこれまでも送迎中の重大事故が発生している。

このため、群馬県警察の協力のもと、県内の高齢者福祉施設により運営されている（一社）群馬県老人施設協議会と連携し、デイサービス送迎車両運転者を対象とした運転実技や運転適性検査などの安全運転講習会を開催し、デイサービス送迎中の事故防止を推進する。

2 普及・啓発事業

本会は、ドライバーはもとより、道路を利用する全ての県民が交通安全意識の醸成や交通ルールへの遵守及び交通マナーを実践することにより、交通事故のない安全で快適な交通社会を実現するための普及・啓発活動を行う。

(1) 広報媒体を利用した活動

ア 機関紙・広報紙等

本会の活動内容をはじめ、道路交通法等の改正要点などを掲載した機関紙「交通安全ぐんま」を発行するとともに、その内容については、当協会ホームページ上にも掲載する。

また、各地区交通安全協会では、地域に密着した広報紙を定期的に発行し、関係機関や各戸に配布することにより、交通安全思想の普及・啓発を図る。

イ マスメディアの活用

年間を通じて新聞・ラジオによるスポット広報を行う。

また、各季の交通安全運動や交通死亡事故多発に伴う緊急対策等の実施に際しては、群馬テレビ、FM群馬、新聞等のマスメディアを活用した重点的な広報を行うことにより、周知と交通事故防止に向けての意識付けを行う。

ウ 飲酒運転の根絶

重大事故に直結する悪質な飲酒運転の根絶を図るため、警察が実施する飲酒運転根絶キャンペーンに協力し、各警察署との合同による酒類提供飲食店への立ち寄り指導や飲酒運転根絶に向けての運動を積極的に実施する。

また、飲酒する機会には、酒を飲まない人を決めるなど、仲間を安全に自宅まで送り届ける「ハンドルキーパー運動」を推奨し、その周知・普及を図る。

エ 命を救う思いやり 110 番通報運動

夜間に徘徊し、保護を必要としている高齢者や路上寝そべり等、交通上の危険者を発見した場合、積極的な保護・誘導とともに、110番通報する「命を救う思いやり 110 番通報運動」を推奨し、県民への普及・啓発を図る。

オ 暴走族追放強調運動の広報等（休止中）

カ 緊急対策の実施

死亡事故が多発した場合、県・警察の依頼により、緊急対策としての横断幕・のぼり旗・立看板等を作成し、交通事故の抑止を図る。

(2) 各季の交通安全運動等の推進

ア 総決起大会等

地区交通安全協会では、各季の交通安全運動期間中、市町村、警察署及び関係機関等と連携の上、交通安全運動総決起大会、交通安全パレード等を実施し、県民に対し交通安全運動の実施を周知するとともに、交通安全意識の高揚を図る。

イ 街頭指導、車両等による広報

各季の交通安全運動期間をはじめ、毎月 1 日の「県民交通安全日」15 日の「自転車マナーアップデー」25 日の「高齢者交通安全日」には、本会役員、職員等による街頭指導や広報車による網の目広報を実施しながら、交通事故防止への注意喚起を行う。

ウ 交通安全啓発 1 d a y リレー

本会女性部が県及び警察と連携し、秋の全国交通安全運動中に実施する。毎年、県内 4 方面（中毛・東毛・西毛・北毛）から一方面を指定し、女性部と他の関係機関で編成された「交通安全キャラバン」による巡回広報を実施するとともに、各地区で実施する街頭指導やショッピングママ作戦等の現場に立ち寄り、共同して交通安全啓発を図る。

(3) 交通の円滑化対策

ア 道路の適正使用

本会は、道路交通法に定められた「交通安全活動推進センター」として、公安委員会の指定を受け、道路の適正使用に関する広報啓発活動を実施する。

また、警察が外部委託する道路使用許可現地調査業務を受託し、県下全域における道路使用許可条件の履行状況及び工事又は作業終了後の原状回復措置状況について、調査員が現場に赴き調査を行うことにより、交通の円滑化に寄与する。

イ 違法駐車の追放

慢性的な違法駐車の原因となる青空駐車（車庫代わりに路上駐車）は、適正な保管場所が確保されていないことに起因している。

本会では、警察が外部委託する自動車保管場所の調査業務を受託し、同調査の機会を利用し、可能な限り違法駐車一掃に関する啓発チラシを戸別配布するほか、家人への面接の機会を捉えて、違法駐車防止に関する啓発活動を行う。

(4) コンクールの実施

ア 交通安全写真コンクール

県民の交通安全意識の高揚と交通事故防止意識の徹底を図るため、県内で実施される各種の交通安全活動を題材とした写真を募集する「交通安全写真コンクール」を実施する。

優秀作品には、群馬県交通安全協会理事長表彰を行うほか、各種広報媒体で活用し、交通安全活動の活発化と交通事故防止に向けた広報啓発活動に役立てている。

イ 交通安全ポスターコンクール

令和3年度から推進している第11次群馬県交通安全計画では、道路交通の安全についての対策の重視すべき視点として、交通人身事故減少に着目した対策と自転車事故減少に着目した対策が挙げられていることから、県民一人ひとりが交通ルールを理解し交通安全意識と交通マナーを高めるため、こどもと高齢者の交通事故防止、中高生の自転車事故防止、その他、交通安全を啓発するものなど、全世代を対象とした交通安全ポスター

コンクールを開催する。

優秀作品には、群馬県知事賞、群馬県教育委員会教育長賞、群馬県警察本部長賞、群馬県交通安全協会理事長賞及び上毛新聞社賞等の表彰を行い、作品は交通事故防止の広報ポスターやチラシ等に活用するほか、交通安全写真と共に展示する。

(5) 交通安全用品の普及促進及び交通安全資器材の活用

反射材、高齢運転者標識（高齢者マーク）等の交通安全用品やT Sマーク及び交通安全関係書籍の普及促進を図り、交通事故防止に寄与する。

（※T Sマークは、自転車安全整備士が自転車を点検・整備し、安全な自転車であることを確認したとき、自転車に貼付されるシールであり、傷害保険及び賠償責任保険が付加されている。）

また、運転適性検査車「ふれあい号」の有効活用をはじめ、交通安全DVD・ビデオ、飲酒体験ゴーグル及び移動式交通信号機など、各種交通安全資器材の積極的な貸出しにより、県民の交通安全意識の向上に努める。

(6) 交通安全功労者及び優良自動車運転者の表彰

毎年、春・秋の全国交通安全運動期間中、交通事故防止に顕著な功績のあった個人、団体及び多年にわたり安全運転を励行し、無事故・無違反を継続している優良運転者を対象に表彰する。

(7) 交通事故相談

各地区交通安全協会に経験を有する相談員を配置し、日々発生する交通事故当事者等からの相談に応じ、当事者が背負う精神的、経済的負担等を考慮した誠実かつ公平な指導に努める。

また、交通事故相談員の知識能力を向上させるため、各種研修会等へ派遣する。

(8) 支部活動

各支部においては、地区交通安全協会が実施する交通安全教育、各種キャンペーン、交通安全運動等の事業に参画するとともに、通学路における学童指導、カーブミラーの清掃、お祭りなどの町内のイベント、交通安全パレードへの参加等、地域に密着したきめ細かな自主事業を行い、交通安全に対する県民意識の底上げを図る。

第2 運転者教育事業（公益目的事業2）

運転免許更新時における申請受付等の事務及び更新時講習、その他道路交通法に基づく各種講習の実施を通じて、交通安全意識の高揚及び運転技能の向上並びに危険運転者の意識改善等を図り、交通事故防止に寄与する。

また、運転者教育事業に付随する証紙を販売して利便を図る。

1 更新時講習

- (1) 優良運転者講習
- (2) 一般運転者講習
- (3) 違反運転者講習
- (4) 初回更新者講習

2 停止処分者講習

3 違反者講習

4 原付講習

第3 運転免許取得希望者の育成及び訓練（収益事業1）

本会の経営事業を通じて、交通安全意識に満ちた優秀な自動車運転者を育成し、交通事故のない安全で快適な交通社会づくりに寄与する。

1 群馬県自動車教習所

教習生の信頼に応え得る自動車運転教習に努めることにより、交通安全意識の高いドライバーを育成するほか、高齢運転者の交通事故防止を目的に、認知機能検査及び高齢者講習等を適正に実施する。

2 群馬県大型特殊自動車練習所

大型特殊自動車、けん引自動車の免許取得のための練習及びフォークリフト講習等のほか、高齢運転者の交通事故防止を目的に、認知機能検査及び高齢者講習等を適正に実施する。

3 群馬県安全運転学校

高齢運転者の交通事故防止を目的に、認知機能検査及び高齢者講習等を適正に実施する。

第4 その他、公益目的事業に資するための収益を目的とする事業（収益事業2）

1 群馬県収入証紙の販売

地域住民の利便を図るため、群馬県総合交通センター、各地区交通安全協会、群馬県自動車教習所及び群馬県大型特殊自動車練習所の各窓口において、各種申請に必要な群馬県収入証紙の販売を行う。

2 各種申請用写真の撮影

各種申請用写真の撮影希望者に対して、写真撮影を行う。

3 運転免許証の郵送

更新者の利便を図るため、郵送希望者に対して、免許証の郵送業務を行う。

4 他団体の業務処理

各地区交通安全協会では、事務委託契約に基づく地区安全運転管理者協議会等の事務局を置き、必要な事務処理を行う。